

授業改善推進プラン〈英語〉

西東京市立ひばりが丘中学校

1 指導目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。

2 平成26年度 1学期における考察と課題

学 年	考察	課題
1 学年	簡単な単語や表現について、英語を使って話すことのできる生徒が多い。	英語を書くことに対しての能力を十分に伸ばすことが課題である。
2 学年	英語の文法・語句についての基礎的な知識については身につけることができた。	自分の考えを適切な英語で相手に伝えたり、正しく書いて表現する力を身に付けさせる。
3 学年	基礎的な文法・語彙の不足がまだまだ多く見られる。そのような点から表現活動を苦手とする生徒が見られる。	基本的な部分の確認をしながら新出事項の定着を図り、表現へとつなげる。
全学年	実践的コミュニケーション能力の基礎となる語彙力を高めるための活動に継続的に取り組むことができた。	自分の意見を正しく文章で表現する能力を身に付けさせることが課題である。

3 平成26年度 2学期以降へ向けての改善のポイント

学 年	改善のポイント
1 学年	コミュニケーション活動を行いながら、単語や文章を英語で書く活動も継続的に行うことで、正しい英語を用いて自分の考えを表現するための力を養うようにする。
2 学年	都の学力調査の表現力の達成率が低かったので、授業内で、自分の考えを書いたり、話したり、発表する機会を増やし、表現活動に力を入れていく。書く力の基礎となる語彙力を身につける活動を継続して実施する。
3 学年	基本的文法事項や語彙力を高めるための繰り返しの練習を行いながら、読解力や表現力を高め、都立入試に対応できる力をつけていくようにする。
全学年	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙から文章を組み立てる活動を学年ごとに到達目標を意識させて計画的に実施していく。 ・「書く力」の基礎となる語彙力を高める活動として、単語テストやビンゴなどを継続して行い定着させていく。 ・「聞く力」を向上させるための音読活動を継続して実施していく。

4 評価の工夫

観点	観点の項目	評価内容
コミュニケーションへの意欲・関心・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自らコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、積極的に授業に取り組めたか。 ・英語に関心を持ち、課題や提出物に意欲的に取り組めたか。 	課題提出、ALTとの対話、授業観察など。
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを持ち、目的や場面に応じて適切な英語で話し、相手に伝えることができるか。 ・自分の考えをまとめ、分かりやすい英語の文章を書くことができるか。 	授業内の表現活動、スピーキング活動、ALT面接、定期考査など。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文章を読み、内容を理解し、書き手の意図をくみ取ることができるか。 ・話し手の英語を正確に聞き取り、理解することができるか。 	リスニングテスト、ALT面接、定期考査、授業観察など。
言語や文化についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文法や、語句についての基礎的な知識を身に付けたか。 ・外国の文化や慣習について理解し、様々な言語活動に生かすことができたか。 	小テスト、定期考査など。